

# 小学校 第6学年 道徳科 学習指導案

神奈川県横浜市立上瀬谷小学校  
主幹教諭 片山 圭祐

**主題名** 広い心をもって

**教材名** 2 ブランコ乗りとピエロ(1時間)

**内容項目** B 相互理解、寛容

**本時の  
ねらい** ピエロの気持ちの変化について話し合うことをとおして、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。

**指導時期** 4月ごろ

## 「指導者用デジタル教材」活用の意図・目的

「マーカー」や「ズーム」を用いることで、登場人物に注目させることができ、登場人物の心情が捉えやすくなる考える。

「心情メーター」を使い、登場人物の気持ちを視覚的に表すことで、児童が考えを表現しやすくなったり、登場人物の気持ちの変化がわかりやすくなったりすると考える。

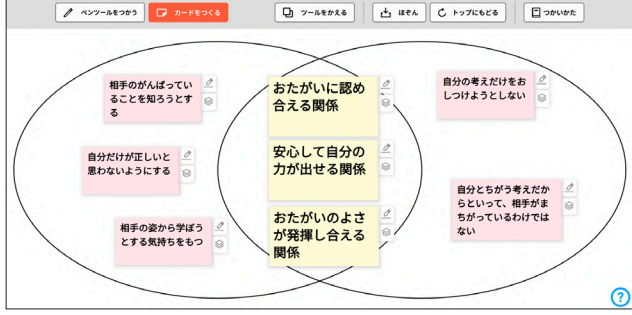
## 本時の展開

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分と友達の考え方が異なるとき、どのように対応しているかについて、事前にアンケートをとるなどして児童が考えをもてるようにしておく。</li> <li>● 「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> <li>■ T：自分と友達の考え方が異なるとき、どのように対応していますか。</li> <li>◎ C：自分の考えが譲れずに気まづくなってしまったことがある。</li> <li>◎ C：相手を怒らせないように、合わせたことがある。でも、そればかりだと相手に自分の思いが出せなくてストレスになる。</li> <li>◎ C：相手の考えも聞いて、自分に生かせるところを見つけた。</li> <li>● 異なる意見をもつ相手との関係について、自分たちが感じていることから、「異なる考え方をもっている相手とよい関係を築いていくためには、どのような考え方が大切だろう」という学習課題を設定する。</li> </ul>	

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<p><b>T</b>：サーカス団にいるブランコ乗りのサムは入ったばかりなのにスター気どりで、リーダーであるピエロの言うことを聞きません。ピエロはいつもサムに腹をたてています。そんな二人の関係は、大王がサーカスの見物に来たときのことをきっかけに変わります。二人の気持ちにどんな変化があったのかに着目して読みましょう。</p> <p>●教材を読む。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」の「まなびリンク」(二次元コード)から「教材の解説」を開き、教材の概要(あらすじ、登場人物紹介)を確認する。</p>  <p>●「朗読」ボタンをクリックし、朗読音声を流す。</p> 
展開	<p>●教材を読んで、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さについて考える。</p> <p><b>T</b>：時間を守らなかったサムに対して、大王の去ったあとの舞台に向かうピエロはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>◎：自分も大王に見てもらいたかった。  ◎：自分ばかり目だとうとして、許せない。  ◎：どうしてこんなに自分勝手なことをするのだろうと怒っている。</p> <p>●サムにはサムの考えがあることに気づかせられるよう、ピエロに対するサムの気持ちを尋ねる方法も考えられる。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」p.13の「さし絵・写真」を映し、ピエロの姿を拡大して、気持ちを考えられるようにする。</p> <p>●ピエロに着目するために、「ペン」でピエロを囲むことも考えられる。</p>  <p>●ツールバーにある「マーカー」を用いて、ピエロの言葉に注目させながら気持ちを考えられるようにする。</p> 

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p><b>T</b>：ピエロの心から、サムを憎む気持ちが消えてしまったのは、どうしてでしょう。</p> <p><b>C</b>：演技の後の疲れはてた姿を見て、サムがどれだけ必死にやっているかを知ったから。</p> <p><b>C</b>：今までサムの思いを考えずに自分が正しいと思うことをサムに言い続けてきたことに気づいたから。</p> <p><b>C</b>：自分はサムくらい必死にサーカスの成功のためにやっていたか、自分が目だちたいのに目だてない悔しさをサムのせいにしていたのではないかと考えたから。</p> <p>● サムのピエロへの気持ちの変化に注目することも考えられる。</p>	<p>● 「心情メーター」を用いて、「サムの実力は認めているが、自分勝手さが認められない気持ち強い」など、より児童の思いに合った考えを引き出すことも考えられる。</p> <div data-bbox="842 271 1477 694" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>サムのことを……</p>  </div> <p>● ツールバーにある「マーカー」を用いて、ピエロの言葉に注目させながら気持ちを考えられるようにする。</p> <div data-bbox="842 795 1477 1187" style="border: 1px solid black; padding: 10px;">  </div> <p>● 「心情メーター」を用いて、サムへの気持ちが変わっていることについて、視覚的に表してから理由を考えるようにすることも想定できる。</p> <div data-bbox="842 1310 1477 1733" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>サムのことを……</p>  </div>

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p><b>T</b>：一緒にいることが少しもつらくなかった二人、サーカスでの二人の息の合った演技で、サーカスも大成功をおさめています。このことから、お互いの立場や考えを尊重し、理解し合おうとすると、どんな関係になっていけると思いますか。</p> <p><b>C</b>：お互いのよいところを生かし合える。</p> <p><b>C</b>：相手から学ぼうとすることができる。</p> <p><b>C</b>：お互いに自分の思いを我慢せずに伝え合える。</p> <p>● 互いの立場や考えを尊重し、認め合うために、今までの自分につけ加えたい考え方について考える。</p>	<p>● ツールバーにある「ペン」や「マーカー」を用いて、言葉に注目させながら考えられるようにする。</p>  <p>● 「指導者用デジタル教材」 p.16の「さし絵・写真」を映し、二人の表情を拡大する。</p> <p>● うれしそうに話している姿から、互いをどんなふうにもっているのかを想像できるようにする。</p>  <p>● 息の合った演技ができるようになった背景に、相手のことを認めている気持ちがあることを、「心情メーター」を用いて想像できるようにする方法も考えられる。</p> <div data-bbox="842 1355 1476 1758"> <p>サムのことを……</p>  <p><input type="radio"/> 認めていない      <input checked="" type="radio"/> 認めている</p> <p><input type="button" value="1"/>   <input type="button" value="2"/>   <input type="button" value="3"/>   <input type="button" value="4"/></p> </div> <p>● 「指導者用デジタル教材」にある「思考ツール」の「ペン図」を使い、出た意見をまとめる。</p>

	活動内容	デジタル教材の活用
展開	<p><b>T</b>：異なる意見をもつ相手に対して、互いの立場や考えを尊重し合い、認め合える関係になるために、二人の関係から学ぶことができるのはどのようなことですか。また、そのような経験はありますか。</p> <p><b>C</b>：学級の話し合いなどで、自分と違う意見が出ると、否定されたみたいと感じて、自分の意見の正しさばかりを主張してしまうことがあった。そんなときは、相手の意見のよいところを自分の意見に取り入れられるようにしたい。</p> <p><b>C</b>：自分の意見が相手と違うなと思ったときに、相手に合わせて自分の考えを言わないことがあった。でも、そうではなくて、相手にも自分の意見を知ってもらおうことでお互いが気持ちを伝え合って認め合える関係になるのだと思った。</p>	
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本時の学習を振り返る</li> <li><b>T</b>：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ふだん使用している学習支援ソフトウェアを活用してもよい。</li> <li>● 「ベン図」を見ながら、どんな見方や考え方がもてたかを選択できるようにすることも考えられる。</li> </ul>

## 「指導者用デジタル教材」を活用したことで得られた効果

「さし絵・写真」を黒板にも掲示したうえで、モニターにも映し、登場人物の表情を拡大したり、本文の言葉にマーカーを引いて注目できるようにしたりすることによって、登場人物の気持ちを想像しながら考えやすくなった。「ペン」や「マーカー」の色を登場人物の気持ちや考えの変化に合わせて意図的に変えるようにすることで、児童が視覚的に理解しやすくなった。



「心情メーター」を用いて登場人物の心情を視覚的に表すことは、児童のより詳しい考えを引き出すのに役立った。「全く認めていないわけではないのだけれど、認められない気持ちの方が強い。なぜかというところ……。」「○の部分で少しは認めていると思う。」など微妙なニュアンスについて考えやすくなった。



「思考ツール」にある「ベン図」を用いて、自分と相手との関係について両者の考え方が合わさることでのどのような関係になれるのかを、視覚的にわかりやすくまとめることができた。これを、保存・印刷して教室に掲示し、学習の足跡として残していく方法も考えられる。いろいろな教科で「思考ツール」の活用を積み重ねていくことで、目的に応じて使い分けられるようになっていこう。

